

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	784-2711
平成18年度部名	環境事業部		課名	津久井クリーンセンター	課長名	西川七郎
平成19年度部名	資源循環部		課名	津久井クリーンセンター	課長名	西川七郎
事務事業名	再商品化業務事業					
予算上の事務事業名	再商品化業務経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります					
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築					
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	分別収集計画			容器包装廃棄物の分別収集の方針		
計画年次	平成18	年度～	平成22	年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
市(津久井クリーンセンター管内)が収集したペットボトル、びん、古布を再商品化ルートにのせ、ごみの減量と資源の有効利用を図るとともに、最終処分場を始めとする廃棄物処理施設の延命を図る。				津久井地域市民一般家庭から排出されるペットボトル、びん、古布		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
収集したペットボトル、びん、古布の再商品化を業者に委託して実施した。 ・再商品化量 ペットボトル：191,990kg、びん：130,110kg、古布：243,740kg ・再商品化経費 ペットボトル：5,760千円、びん：105千円、古布：2,048千円						
(参考) ・有価物売払い量 古紙類：1,373,690kg、アルミ：160,780kg、鉄：646,830kg ・有価物売払い額 古紙類：2,662,147円、アルミ：13,884,990円、鉄：1,002,187円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
多くの市町村が分別収集計画を策定し、分別収集を実施し、必要に応じて選別等を行い、資源のリサイクルを推進している。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	7,967	9,478	9,478	
一般財源	0	0	7,967	9,478	9,478	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	2,220	210	210	
事業コスト合計	0	0	10,187	9,688	9,688	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	ペットボトル再商品化事業			対象名称 と単位	ペットボトル再商品化 量(kg)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	5,760	6,300	6,300	
対 象 数	0	0	191,990	210,000	210,000	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	30	30	30	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	再商品化量（t）	指標式と指標の説明	ペットボトル、びん、古布の再商品化量		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	566.0		
目標	0.0	0.0	566.0	594.0	624.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	再商品化率（%）	指標式と指標の説明	再商品化量÷収集ごみ量×100 収集ごみに対する再商品化量の割合をみる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	2.9		
目標	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業は、現状では概ね良好に実施しているが、ごみと資源の収集区分等における旧相模原市域との制度統合を検討しており、この中で今後より一層のごみの減量化と資源の再商品化の方法について検討していく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
・旧相模原市域との制度統合。 ・ごみと資源の区分について、市民への周知を図っていく。			将来的な収集品目増加に対応する効率的な収集方法と一時保管場所の確保。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			